

臨床栄養師を目指して
『臨床栄養師研修のご案内』

2010 年度

一般社団法人 日本健康・栄養システム学会

Japanese Society on Nutrition Care
and Management

はじめに

日本健康・栄養システム学会
理事長 武藤 泰敏



栄養ケア・マネジメントが医療・保健・福祉において制度化され、管理栄養士が臨床の現場で果たす役割は増大の一途にあります。しかし大学の管理栄養士養成課程における実地臨床研修は十分とはいえず、管理栄養士は就職した後、現場における限られた指導や自らの経験により臨床能力を養っているのが現状です。「習うより慣れろ」、「技は見て盗め」は日本の伝統的な教育理念ではありますが、決して能率のよい方法ではありませんし、現場の患者さんにとっては迷惑以外のなにものでもありません。

日本健康・栄養システム学会では平成16年、自立した専門職として多職種と連携し、患者・利用者のために栄養ケア・マネジメントを展開できる栄養士を育成することを目的に臨床栄養師研修・認定制度を発足させました。本研修は米国の登録栄養士

(registered dietician) の教育制度を手本としており、特定の領域の突出した専門家の育成ではなく、幅広い経験と知識を持ちエビデンスに基づく科学的な栄養ケアを遂行できる栄養士の育成を目指しています。急性期や慢性期の栄養ケアや生活習慣病予防のための生活指導まで100時間の認定講座と900時間の臨床研修で、医療従事者としての能力と自信を身につけることを目指しています。現在までに約150名の臨床栄養師が誕生し活躍しております。

管理栄養士として将来、病院、介護保険施設などで患者さんを相手に活躍したいと思っている人や生活習慣病の予防のために栄養ケアを行っていきたい人に適しています。またこれまで給食サービスが中心であった病院での管理栄養士の役割が、病棟や外来で患者さんを相手に活動する方向に変化していることに戸惑っている人、これを機会に自分の経験を最新の臨床栄養学の全体像の中で見直してみたいと思っている人、後輩の管理栄養士の指導に頭を悩ませている人など新人からベテランまで多くの方に利用していただけます。

多くの方が研修を受け、生活習慣病の蔓延と医療費高騰で破たん寸前の日本の医療を臨床栄養学を武器に救済する専門職として活躍されることを希望します。

なお、本年度から受託研修施設で教育にあたる管理栄養士や大学院学生に対しては講座や臨床研修の免除規定を設けるなどより多くの方に研修を受けていただきやすくなりました。詳しくはホームページをご覧ください。学会事務局までお電話でお問い合わせください。

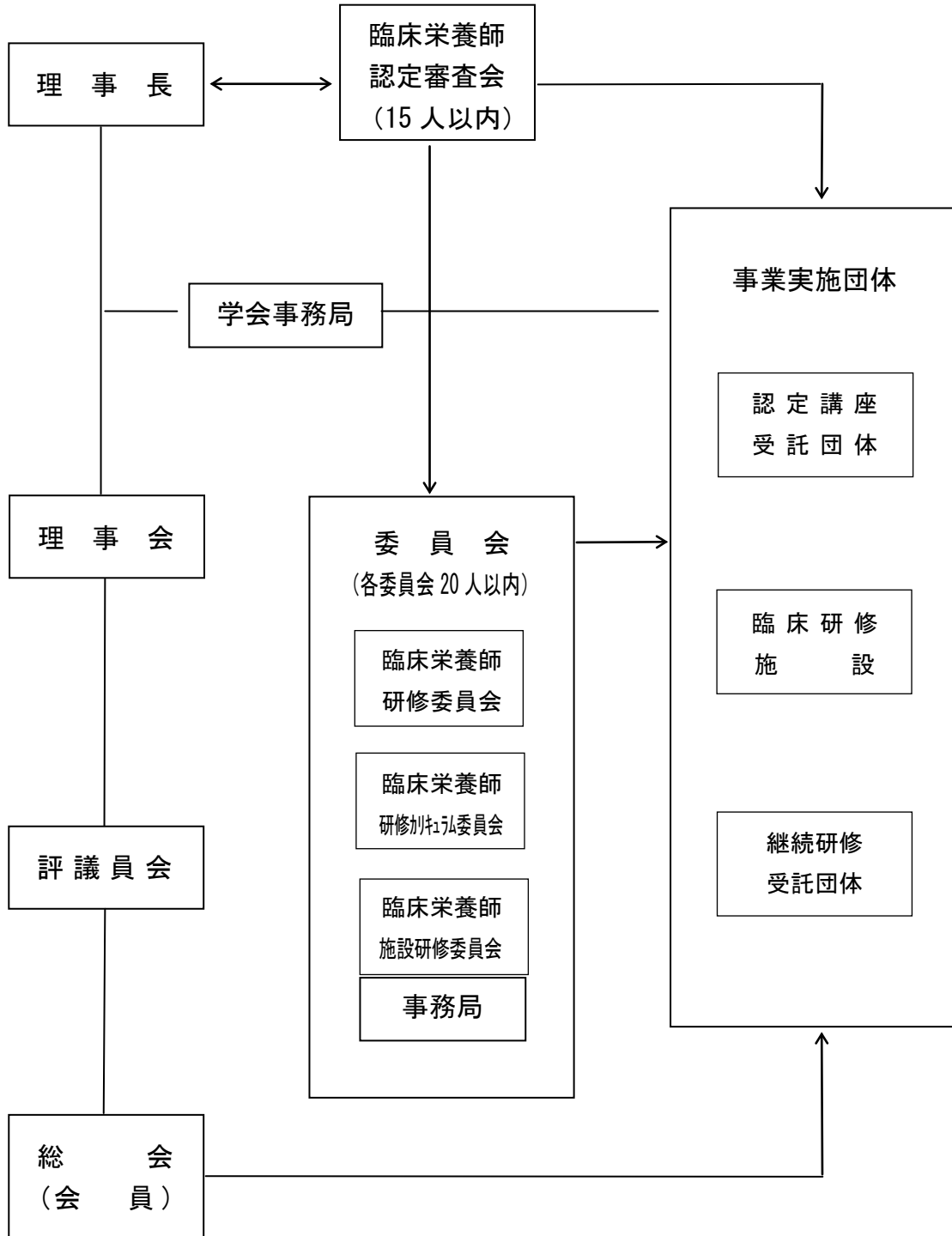
臨床栄養師の定義

臨床栄養師とは、人間栄養学に基づいた臨床栄養の知識、技術およびマネジメント能力を習得し、栄養ケア・マネジメントの質の向上に努めることのできる能力を有している学会員である管理栄養士である(臨床栄養師資格認定規則第2条より)

臨床栄養師の6つの能力

臨床栄養師は6つの能力を備える。①臨床栄養師としての理念、使命感を備える。②専門職のチームメンバーとして、連携のとれた業務活動ができる。③栄養ケア・マネジメントの業務活動ができる。④栄養ケア・マネジメントの業務活動上の問題を明確にし、解決策を提示できる。⑤リーダーとなれるマネジメント能力を備える。⑥積極的に自己学習できる(臨床栄養師資格認定規則第3条より)

日本健康・栄養システム学会 臨床栄養師養成組織



日本健康・栄養システム学会 理事一覧

理事長	武藤 泰敏	岐阜大学 名誉教授
副理事長	板倉 弘重	茨城キリスト教大学 生活科学部食物健康科学科 教授
副理事長	竹田 秀	財団法人 竹田総合病院 理事長
理事	井形 昭弘	名古屋学芸大学 大学長
理事	井廻 道夫	昭和大学 教授
理事	宇田 淳	広島国際大学 教授
理事	大谷 幸子	東京大学医学部附属病院 栄養管理室長
理事	加藤 章信	盛岡市立病院 院長
理事	加藤 昌彦	椛山女学園大学 教授
理事	鎌田 由香	(医)永仁会 永仁会病院 科長
理事	合田 敏尚	静岡県立大学 食品栄養科学部 教授
理事	小山 秀夫	静岡県立大学 経営情報学部 教授
理事	小山 和作	日本赤十字社 熊本健康管理センター 名誉所長
理事	近藤 和雄	お茶の水女子大学 生活環境教育研究センター 教授
理事	柴田 博	桜美林大学大学院 教授
理事	下門 顕太郎	東京医科歯科大学大学院 教授
理事	杉山 みち子	神奈川県立保健福祉大学 教授
理事	田中 明	女子栄養大学 栄養学部実践栄養学科 教授
理事	西垣 克	静岡県立大学 前学長
理事	野地 有子	防衛省人事教育局付 防衛医科大学校 教授
理事	信川 益明	慶応義塾大学医学部 特別研究教授
理事	森脇 久隆	岐阜大学医学部附属病院 院長
理事	山下 茂子	水俣市立総合医療センター 科長
監事	井川 正治	日本体育大学 教授
監事	堤 ちはる	(社福)恩賜財団母子愛育会 日本子ども家庭総合研究所

《 臨床栄養師研修の概要 》

研修プログラム

臨床栄養師研修は、講義 100 時間の認定講座と臨床研修 900 時間の認定研修である。
 なお、これらの研修プログラムの達成基準は、米国の登録栄養士の知識、技術、コンペテンシー (competency; 実践能力) の達成基準に準拠して作成したものである。

臨床栄養師研修カリキュラムにおける達成目標、実施、評価指針は別表参照

認定講座

認定講座は、毎年 6,8,1 月に開催され、1 年間に取得できるカリキュラムが作成されているが、2 年間で取得も可能である。

番号	内容	時間	番号	内容	時間
1	倫理とチーム活動	2	10	退院計画・指導	4
2	栄養ケア・マネジメントと情報管理	2	11	在宅栄養ケア・マネジメントの運営 (介護予防を含む)	3
3	科学的根拠に基づいた栄養ケア・マネジメント	2	12	集団の栄養評価と計画	6
4	栄養ケア・マネジメントの運営	4	13	地域栄養活動	2
5	栄養アセスメント・栄養ケア計画	7	14	栄養政策と栄養士活動	4
6	特定保健用食品、保健機能食品・病患者用食品	4	15	給食経営管理	4
7	経腸・静脈栄養法	8	16	運営の基礎	8
8	栄養教育	16	17	人材教育と自己研鑽、生涯教育	2
9	症例検討と発表	20	18	特別講義	2

日本健康・栄養システム学会・臨床栄養師研修委員会にて実施

日本健康・栄養システム学会が認定する栄養専門の大学・大学院にて実施（大学院については、別に相当細則による）

認定講座・臨床研修の履修相当については、臨床栄養師認定研修履修相当細則による

臨床研修

臨床研修は、当学会の認定臨床研修施設において、監督責任者のもとに①急性期病院 350～400 時間、②回復期リハビリテーション・介護保険施設 150～200 時間、③地域栄養活動（外来、健診、通所サービス、訪問栄養指導 150～200 時間、④介護予防のための栄養改善サービスなど 150～200 時間による 900 時間を実施する。

また、臨床研修は、研修マニュアルに基づいて行われる。研修マニュアルは、臨床研修のカリキュラムやスケジュールが記載されたものである。研修マニュアルは、臨床研修プログラムの達成目標、研修の指針及び評価の指針、マニュアル作成要綱に基づき、実施可能性、具体性を重視して研修施設ごとに作成され、当学会による評価を受けている。

* ①～④の時間配分は研修受託施設側と研修生のニーズに応じて 900 時間に調整可。

研修の履修相当について

認定講座および臨床研修の一部において、履修に相当する要件を認める場合には、履修相当として当該時間を免除することができる。履修相当の申請をする者は、認定講座出願時に「**臨床栄養師認定研修履修相当申請書**」を提出することとする。（臨床栄養師認定研修履修相当規則参照）

- 第20回以降の管理栄養士国家試験合格者については、認定講座時間16時間の履修に相当させることができる。
- 日本静脈経腸栄養学会認定「栄養サポートチーム専門療法士」、日本病態栄養学会認定の「病態栄養専門師」および「日本糖尿病療養指導士認定講座認定の「日本糖尿病療養指導士」の有資格者については、認定講座16時間、および臨床研修40時間（平成18年度以前の資格認定者は80時間）に相当させることができる。ただし、他学会の認定資格の取得については、一つに限るものとし、複数の申請は認めない。
- NCMリーダーは、認定講座80時間、臨床研修800時間に相当させることができる。
- 臨床栄養師研修受託施設勤務管理栄養士の3年以上の業務経験は認定講座80時間、臨床研修700時間に相当させることができる。

臨床研修施設の決定について

臨床研修を実施する施設の決定は、研修生の希望と臨床研修施設の意向を踏まえて調整する。臨床研修希望者の研修施設選定を支援するために、臨床研修受託施設の概要、連絡先、募集人数、研修プログラム、募集条件などの情報をホーム・ページ上に公開している。また研修生の研修施設の決定を公平かつ適正に実施するためのマッチングを実施する。

*マッチングシステムとは、研修生の研修施設の選択、決定を公平かつ適正に実施することである。（臨床栄養師臨床研修実施細則参照）

次のとおり臨床栄養師マッチング支援事業を実施する。

- ① 臨床研修希望者は、臨床研修施設希望順位票を学会に提出する。
- ② 臨床研修希望者は、研修希望施設が定める選考手続き（面接、試験）を受ける。
- ③ 臨床研修施設は、臨床研修採用希望順位票を学会に提出する。
- ④ 学会（臨床栄養師研修委員会）は、臨床研修希望者と臨床研修受託申請施設の研修プログラムの審査（マッチング）を実施し、臨床研修希望者および臨床研修受託申請施設に決定事項を通知する。

注：研修施設の選考に必要な各自の履歴書は各施設に送らず、願書提出時に事務局に提出する。

認定試験について

認定試験は、年1回実施される。認定研修の認定講座と臨床研修後に受験する。認定研修修了後3年間経過後も未受験あるいは、不合格の場合は、認定研修を再受講することになる。

認定論文について

学会が実施する臨床栄養師認定論文の提出資格は、臨床栄養師認定試験細則第4条に規定する事項に加えて、医療・福祉施設（臨床研修受託施設に限らない。）における、実務経験を1年以上有していることとする。

認定論文は、認定試験合格後に提出し、臨床栄養師認定審査会で審査される。論文の内容は、勤務

形態は問わないが実務経験に基づくものとなる。認定試験合格後 3 年経過後も未提出あるいは、不合格の場合には、認定試験を再受験することになる。

認定論文審査を受けようとする者は、以下の書類を学会に提出しなければならない。

- (1) 願書（資格認定申請書）
- (2) 論文（35 文字×30 行 5 枚程度）

資格認定・登録

臨床栄養師資格合格後、登録の手続きを実施する。臨床栄養師登録票と臨床栄養師章が付与される。

継続研修について

臨床栄養師資格認定・登録後も能力維持のために認定の翌年より 3 年間に 100 時間の継続研修が必要となる。そのうち 30 時間については学会主催の研修会・講演会・総会等より臨床栄養師研修委員会が指定したものから履修しなくてはならない。3 年ごとに登録更新する。

《 臨床栄養師資格取得者からのメッセージ 》

目指せ！続け！臨床栄養師

富山市立富山市民病院 栄養科

高坂 敦子

私がこの臨床栄養師研修で得たものは、①臨床栄養師受託施設で臨床研修を受け、今まで悩んでいたシステムの問題解決への糸口になったこと②同じ目標を持った多くの友を得たこと③5年後、10年後の目標設定ができたことです。病院実習では、同じ釜の飯を食べ、時間を過ごしたことはとても刺激になりました。また、NCMリーダー研修や認定講座では、同じ目標を持った仲間がたくさんできました。この繋がりは、とても頼りになる、いい人脈ができたと思っています。また、臨床栄養師認定証を持って院長室を訪れた際、院長から「これから栄養士さんたちは、この病院で何がしたいの、どんなことをしていくの、これからは楽しみだね」と、大きな期待と課題をいただきました。次世代を担う皆さん、もう担っているベテラン管理栄養士さん、今までの自分の殻を破り、新しい自分を見出してください。第一歩が臨床栄養師にチャレンジです。

臨床栄養師として、いっしょに歩みましょう！

茨城県立中央病院

田中 智子

臨床で働いて5年、NCMリーダー研修の3年、4年目に臨床実習を終えて5年目に臨床栄養師の認定を受けました。私の場合は、同時進行で、研修で学んだことを職場で実践いくことができ、スキルアップもできたとうれしく思っています。

臨床において栄養は治療の基本であると考えます。薬で病気（炎症）を治す（抑える）ことはできますが、身体をなおすことはできないのです。身体を修復するのは栄養だからです。治療効果を高めていくためには適切な栄養が必要不可欠ということと考えています。

私たちは、他の医療スタッフと協働で栄養の専門職・人間栄養学の実践者として役割を果たしていかなければならないのだと思います。私は力不足で毎日が勉強で学ぶことばかりですが、私たちには、素晴らしい先生方や先輩方がついていますし、研修の機会も多くあり、とても心強く感じています。

この研修は、実践的で充実した研修であると思います。

夢の実現に向けての第1歩

医療法人社団三喜会 鶴巻温泉病院

清水 紗弥香

勤めて4年目になった私は、給食管理業務と栄養管理業務が上手く両立ができず、どう勉強したらいいのか、どのように取り組んだらいいのか。分かりませんでした。また、地域・在宅での栄養ケアを行っていききたい。との夢を抱いていても、どのような事なのか実態が分かりませんでした。臨床栄養師の研修の中では、疾患や栄養の知識、システム・マニュアル作りといった勉強だけでなく、実際に取り組んでいる病院へ研修にさせて頂き自分の目で見て、学ぶ事ができました。抱えていた悩みが1つ1つ整理され、益々在宅への意気込みが強くなり、夢への第1歩が踏み出せた様に思います。学んだ事をスキルとして生かせるように、これからも夢に向かって頑張っていきたいです。

《 大学院と連携した臨床栄養師研修 》

大学院小委員会委員長からのメッセージ

静岡県立大学食品栄養科学部 兼大学院
生活健康科学研究科 食品栄養科学専攻

合田敏尚

国際レベルで認知される栄養専門職になるための鍵を握るのは、マンツーマンによる指導体制を整えたインターンシップ研修です。臨床栄養師研修は、この水準の研修制度をわが国ではじめて導入したという意味で画期的なものです。本来、この臨床研修は、専門知識を学んだ後に、管理栄養士が最低限の実践能力を身につけて実践の現場に出ていく前におこなうべき、系統的な初任者実践教育に相当します。実務につく前に臨床栄養師研修を受ける意義は2つあります。栄養専門職として自立し、どの分野であっても、初日から自信をもって実務に取り組めること、可能性のある一連の分野を経験し、その分野で活躍している指導者を通して自分の将来像を描くことができるため、自分がどの分野に進むべきか熟知できることです。将来、実践の現場で栄養専門職として活躍したい大学院生にとっては、効率よく実践を学ぶきわめて稀な機会となるでしょう。現在のわが国では、日本人のエビデンスに従った栄養ケア・マネジメントの必要性が強く望まれています。臨床の実務経験を持ち、研究遂行能力を兼ね備えた管理栄養士が必要とされています。社会のニーズに見合った情報収集・問題解決能力と実践能力を同時に身につけられる、そのような機会を大学院で活かしてみませんか。

大学院研修生からのメッセージ

臨床栄養師研修のすすめ

静岡県立大学大学院 生活健康科学研究科 食品栄養科学専攻 山内 浩之

大学院という環境でアカデミックな能力を養いつつも、臨床現場で求められる知識や経験を認定講座・臨床研修を通じて集積することができるのがこの臨床栄養師研修の特筆すべき点であると思います。様々な分野について学ぶことで視野が広がり、自身の将来に対し明確なビジョンを持つことができます。

臨床栄養師研修認定講座に参加して

大阪樟蔭女子大学大学院 人間科学研究科 人間栄養学専攻 長谷川 恵理

大学院生で実務経験がないのですが、認定講座での先生方の実践的な講義を受けることによって、現場の雰囲気や現状など今まで知らなかったことをたくさん学ぶことができました。実際の現場に出て行く前にこれらを少しでも体験できるということは、自分に自信を持つことにつながり、将来とても役立つ素晴らしい経験になったと思います。

私のような実務経験のない大学院生にとって臨床栄養師研修は大変意義のある貴重な機会です。大学の授業では学ぶことのできない幅の広いかつ実践的な内容の講義、臨床現場における患者様や利用者様とのコミュニケーション、ご指導を賜る先生方や同じ目標に向かって切磋琢磨する同期の研修生との出会いは、どれも将来自分が働く領域できっと活かされる素晴らしい経験です。また、管理栄養士が活躍する様々な分野の第一線の現場で臨床研修を受けることができるので毎回新たな発見があり、その経験を通してさらに自分自身と向き合うことで、自身の可能性を大きく広げることができると感じています。まだまだ実力不足で学ばなければならないことはたくさん、

《 臨床栄養師研修受託施設からのメッセージ 》

研修施設委員会委員長からのメッセージ

竹田総合病院理事長 竹田秀

臨床栄養師の研修施設は、北は北海道から南は沖縄まで38の施設があります。それぞれの施設には、臨床栄養師やNCMリーダーの資格を持った指導者がおり責任を持って研修の指導にあたっています。臨床栄養師研修施設はどれも研修生の受け入れに積極的であり、指導者の皆さんも研修に情熱を燃やしておりますので実習は大変好評です。またそれぞれの施設の特色を出したプログラムが用意されていますので、研修生の皆さんも自分の研修目的に合った施設が選べるとおもいます。

是非多くの皆さんが臨床栄養師を目指して研修されることを期待しています。我々も研修内容の充実と施設数の拡大に努めてまいりますのでよろしくお願いたします。

1. 特定医療法人柏葉脳神経外科病院 2. 札幌市豊平区月寒東1条15丁目7-20 3. 金子 貞男 4. 安江 千歳
5. 144床 6. 病院、回復期リハビリ、給食経営管理 7. 地下鉄東豊線福住駅から徒歩5分。脳神経外科の専門病院であるため、研修は急性期治療から回復期リハビリテーションまでの治療過程を利用して行います。

1. 医療法人永仁会 永仁会病院 2. 宮城県大崎市古川旭2丁目5-1
3. 病院長:鈴木祥郎 4. 臨床栄養師:鎌田由香 5. 80床+透析64床 6. ①急性期(消化器) ②地域栄養ケア(糖尿病・慢性腎不全) ③給食経営管理 7. 臨床現場で栄養ケア・マネジメントを行うスキルを磨くための研修を行います。

1. 財団法人竹田総合病院 2. 福島県会津若松市山鹿町3番27号 3. 本田 雅人 4. 室井 弘子 5. 1075床
6. 急性期一般病院・回復期リハビリテーション・地域栄養ケア活動・給食経営管理

1. (財)脳血管研究所 美原記念病院 2. 群馬県伊勢崎市大田町366 3. 美原 盤 4. 渡辺 美鈴 6. 全領域
7. 当院は職員寮に安価(500円/日)で宿泊できるため、遠い方でも研修可能です。NCMリーダー有資格者希望

1. 医療法人財団松園会 東葛クリニック病院 2. 千葉県松戸市樋野口865-2 3. 東仲宣 4. 高崎美幸
5. 95床(法人内に療養型18床、透析台数403台) 6. 急性期病院、介護保険施設、地域栄養活動、給食経営管理(全領域) 7. 当院は「東葛に来ると栄養管理がついてくる!」のスローガンのもと職員のスキルアップにも力を入れています。熱意のある方大歓迎です。

1. 医療法人柏葉会 柏戸病院 2. 千葉県千葉市中央区長洲2-21-8 3. 齋藤 俊弘 4. 藤原 優子 5. 171床
6. 急性期病院・回復期リハビリ(療養型病床群)・地域栄養活動(外来・訪問・特定保健指導)・給食経営管理
7. 糖尿病患者における栄養指導を中心とし、訪問栄養指導や特定保健指導に取り組む一方、神経内科や呼吸器疾患患者における摂食嚥下障害への対応や経腸栄養管理などについて研修することができる地域に密着した一般病院です。給食経営管理は直営で、管理栄養士は常勤で6名在籍しております。多忙な業務の中、スタッフの勉強会や症例検討、地域での勉強会開催など、明るく前向きに取り組んでおります。

1 東京厚生年金病院 2. 東京都新宿区津久戸町 5-1 3. 谷島 健生 4. 鬼頭 延枝 5. 520 床
6. 急性期・給食経営管理 7. 立地条件として、今流行の「神楽坂」が近くにあり とてもいい所に
ありますが、宿泊施設はありませんので通勤可能な方をお願い致します。また、実習生受入が 6 校ありますので、研修
期間がある程度決まってしまう。日程は要相談！をお願いいたします。

1. 東京大学医学部附属病院 2. 東京都文京区本郷 7-3-1 3. 病院長 武谷 雄二 4. 栄養管理室長 大谷 幸子
5. 1,210 床 6. 病院における臨床研修、給食経営管理研修 7. 当院の研修者には、臨床栄養への熱意、より効果的な
栄養ケアを実施しようとする向上心、何より、それらの全てを患者さんに還元しようとの強い思いを持ちあわせている
人を望みます。加えて、いつも笑顔を決やさず明朗快活で、コミュニケーション能力に優れた人を歓迎します。

1. 東京都老人医療センター（平成 21 年 4 月 1 日から 独立行政法人東京都健康長寿医療センターに名称変更）
2. 東京都板橋区栄町 35 番 2 3. 井藤 秀喜 4. 府川 則子 5. 561 床 6. 急性期 7. 全国でも唯一の
高齢者専門の急性期病院として、質の高い医療サービスを提供しています。私たちは医療チームの一員として、研修生
の皆さんと一緒に、臨床に情熱を持って取り組んでまいりたいと考えています。是非応募をお待ちしております。

1. 初台リハビリテーション病院 2. 東京都渋谷区 3. 石川 誠 4. 桐谷 裕美子 5. 173 床
6. 回復期リハビリテーション病棟 7. 東に都庁、西に富士山を望む全床回復期リハビリテーション病棟の病院です。管
理栄養士 6 名が病棟に配属され、病棟を活動の拠点に日々働いています。平均年齢 29 歳とまだまだ若輩者の集団です
が、エネルギッシュな管理栄養士さんを募集しています。

1. ふれあいの森 2. 茅ヶ崎市下寺尾 1928 tel0467-54-9111 3. 福嶋廣子 4. 田中和美 5. 70 床
6. 介護保険施設、地域栄養ケア 7. 交通の便があまり良くありませんが、施設ケアと居宅の栄養ケアの両方を行っている特養
です。法人内に介護保険全般（GH、ケアハウス、地域包括、訪問介護、居宅支援事業所、各種通所等）の関連施設と協働して
います。自分のテーマを持って、実行力、探究心のある方、お待ちしております。

1. 小田原市立病院 2. 神奈川県小田原市 3. 中島 麓 4. 遠藤 奏子 5. 417 床
6. 急性期病院 7. 日本健康・栄養システム学会の認定講座で諸先生方から学んだ理論を臨床栄養師研修（栄養ケア・マ
ネジメントの実践）の場で活用することにより各施設の中で評価される臨床栄養師と一緒に目指していきましょう。

1. 鶴巻温泉病院 2. 神奈川県秦野市鶴巻北 1-16-1 3. 藤田 力也 4. 臨床栄養師 清水 幸子 5. 596 床
6. 回復期リハビリ・介護保険施設、地域活動、給食経営管理
7. チームケアを全病棟で展開しています。目的の明確な研修生を希望しています

1. (財) 積善会曾我病院 2. 神奈川県小田原市曾我岸 148 3. 長谷川剛 4. 臨床栄養師 西宮弘之
5. 病院 400 床・老健 90 床 6. 精神科を中心とした慢性期及び急性期、給食経営管理、介護老人保険施設などの領域
7. 当院は精神科を中心とした社会福祉関係の病院です、現代社会の複雑化に伴い精神疾患を患う方が増える中、精神科
特有の栄養問題に関心のある方の応募お待ちしております。

1. 社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院 2. 静岡県浜松市中区住吉 2 丁目 12-12
3. 堺常雄 4. 古橋啓子 5. 病床数 744 床 6. 研修領域 ①急性期・一般病院、③地域活動、④給食経営管理
7. 当院では、研修管理委員会にて「臨床栄養師」を紹介し、研修センター新聞にも「臨床栄養師」を掲載してもらいま
した。臨床栄養師が多職種の中で力が発揮できるよう努めています。

1. 昭和伊南総合病院 2. 長野県駒ヶ根市赤穂3230 3. 長崎 正明 4. 座光寺知恵子
5. 235床 6. 急性期、地域栄養ケア活動、給食経営管理 7. 研修日程、時間は希望に添うように致します。一緒に勉強しましょう。

1. 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院 2. 愛知県安城市安城町東広畔28番地 3. 山本 昌弘
4. 益田 弘美 5. 692床 6. 急性期・一般病院、介護保険施設、地域栄養活動・外来、給食経営管理 7. 患者さんのために頑張れる方、謙虚さと協調性を大切にされる方、経験を積んでお互いにステップアップして行きましょう！

1. 医療法人北辰会 蒲郡厚生館病院 2. 〒443-0035 蒲郡市栄町11-13 3. 下郷 宏 4. 栄養管理室長 加藤恵美
5. 98床（医療療養型病床49床・回復期病棟49床）併設に老健60床、デイケア20人、デイサービス40人あり
6. 回復期リハビリ、介護保険施設における研修 7. 「食べる喜びをいつまでも」という観点から、嚥下に力をいれ専門的な知識及び技術をもった質の高い臨床栄養師の実習を目指しています。

1. 医療法人三九会 三九朗病院 2. 愛知県豊田市小坂町7-80 3. 加藤 真二 4. 林 明日香 5. 140床
6. 回復期リハビリテーション・給食経営管理 7. 当院は、「患者さまおよび利用者さまとの間の思いやりと信頼を大切に考える」病院です。回復期リハビリテーション施設では他職種連携による栄養ケア・マネジメントを研修できます。2008年8月には日本健康・栄養システム学会主催の後進育成のワークショップ（於：シドニー・ロイヤルプリンスアルフレッド病院）を終了し、研修生をメンター方式でお迎えいたします。

1. 医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 2. 愛知県刈谷市住吉町5-15 3. 鈴木 克昌 4. 横山 道恵 5. 621床
6. 急性期病院、回復リハビリテーション、地域栄養ケア活動、給食経営管理 7. 「社会貢献」という基本理念を追求するために持ち続けてきた「患者第一主義」という想いで「患者さんに本当にいいことなのか？」と私たちは常に自問自答を繰り返し日々の業務にあたっています。栄養ケアを通して疾病と治療、アフターケアを充実させ、医療と福祉に貢献できるよう共に学びましょう。

1. 財団法人仁風会嵯峨野病院 2. 京都市右京区鳴滝宇多野谷9 3. 小松建次(院長) 4. 戸田さなえ(給食科主任) 5. 180床
6. 介護保険施設(介護療養型医療施設) 7. 当院は、平均要介護度4.81、平均年齢87.5歳という終末期の介護療養型医療施設です。現在は、多職種協働(主治医、看護師、ケアワーカー、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、管理栄養士等)でNST活動も活発に行っております。宿泊施設はありませんが、近くに世界遺産の仁和寺、竜安寺、金閣寺等京都の観光名所もありますので、行き帰りも楽しんでいただけます。

1. 九州厚生年金病院 2. 北九州市八幡西区岸の浦一丁目8-1 3. 菊池 裕 4. 池上 富子
5. 575床 6. 病院・急性期・給食管理 7. 医師・看護師その他コメディカルスタッフの研修施設になっています。宿舎についてはご相談ください。管理栄養士8名中、臨床栄養師1名・NCMリーダー1名がいます。
お互いに学びあいましょう

1. 国保水俣市立総合医療センター 2. 熊本県水俣市天神町1-2-1 3. 坂本 不出夫 4. 山下 茂子
5. 418床 6. 急性期病院、回復期リハビリテーション/介護保険施設、地域栄養ケア活動、栄養・食事・経営管理（完全直営）

1. 筑波大学附属病院 2. 茨城県つくば市天久保2-1-1 3. 五十嵐 徹也 4. 岩部 博子 5. 800床 6. 急性期、リハビリ、外来、経営管理で計720時間 7. 「ヒトをみる」という技術の習得は容易ではありませんが、より多くの管理栄養士に全人評価やマネジメントの技術を習得していただければと期待しております。医療は日進月歩。常に新しい技術も開発されております。臨床栄養に情熱を持った皆さんからの応募をお待ちしております。

1.社会医療法人若弘会 2.大阪府東大阪市若草町1番6号 3.院長山中英治 4.石川英子 5.230床

6.急性期病院における臨床研修、地域栄養ケア活動研修、給食経営管理研修

7.長時間の現場での実習になりますが、患者さんと向き合い、向き合うためには勉強をし、向上心・目的を持って一緒に頑張っていきたいと思います。

1.老人福祉施設:特別養護老人ホーム.愛全園 2.東京都昭島市田中町 2-25-3 3.蓮村 幸兌 4.佐藤 悦子 5.特別養護老人ホーム110名 養護老人ホーム 140名 ショートステイ 22名 通所 57名 居宅療養管理指導 40件 昭島市委託訪問栄養相談 10件 地域包括支援センター 居宅介護支援センター 訪問介護ほほえみ 訪問入浴くつろぎ ふれあい食事サービス(昼食・夕食:病態別 摂食・嚥下障害別) 6.介護保険施設・地域栄養活動・給食経営管理

7.栄養業務として入所272床、通所55名の栄養ケア・マネジメント、栄養改善他、地域栄養ケアは食事サービス、栄養ケアステーション、居宅療養管理指導を行なっています。その他、地域包括支援センター、居宅介護支援センター、訪問介護、訪問入浴を行なっている福祉サービス事業所です。研修は、地域栄養ケア業務を主に行います。

1.千葉大学医学部附属病院 臨床栄養部(栄養管理室) 2.千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1 3.河野陽一 4.野本尚子

5.835床 6.病院における臨床研修 7.当院は、日本健康・栄養システム学会臨床栄養師臨床研修に対応した臨床研修プログラムを用意し研修生を募集いたします。臨床に情熱をもった皆様が応募されることを期待しております。又、勤務をしながら研修をされる場合出来る限り柔軟な研修日程に対応したいと考えています。共に学びあい、成長して行きましょう。

1.施設名 2.所在地 3.研修責任者名 4.監督責任者名 5.病床数 6.研修提供領域 7.メッセージ

認定講座科目配当一覧表

No.	科目名	全時間数	6月開講	8月開講	1月開講	学会・総会 時指定時間 *	第20回管理栄 養士国家試験 合格者履修相 当時間	NCMリーダ ー ・ 臨床研修受託 施設勤務(3年 以上)者 必修講座時間	栄養サポ ート 専門療養士有 資格者履修相 当時間	病態栄養専門 師・日本糖尿 病療養指導士 履修相当時間
1	倫理とチーム活動	2	2							
2	栄養ケア・マネジメントと情報管理	2			2					
3	科学的根拠に基づいた栄養ケア・マネ ジメント活動	2	2							
4	栄養ケア・マネジメントの運営ー計画、 評価、品質改善活動	4	2		2					
5	栄養アセスメント・栄養ケア計画	7	4	3			3			
6	特定保健用食品・保健機能食品・病者 用食品の検討	4		4			4			
7	経腸・静脈栄養法	8	4	2	2		2		8	
8	栄養教育(生活習慣病)	6	2		4		2			6
8	栄養教育(低栄養状態)	6	6							
8	栄養教育(栄養教育の基本)	4	2	2			2	2		2(6月開講)
9	症例検討と発表	20	10	10			1	6	8	8
10	退院(所)計画・指導	4			4					
11	在宅栄養ケア・マネジメント	3		3				2		
12	集団の栄養評価と計画	6		2	4		2	2		
13	地域栄養活動(自治体やボランティア 活動団体との連携を含む)	2		2				2		
14	栄養政策と栄養士活動	4				4				
15	給食経営管理	4		4						
16	経営の基礎	8	4	4				4(8月開講)		
17	人材教育と自己研鑽、生涯学習	2				2		2		
18	特別講義	2				2				
		100	38	36	18	8	16	20	16	16

*学会・総会時指定時間:学会・総会プログラムの中に履修相当単位を指定。学会終了後1か月以内にレポート提出。その内容により単位を認定。

臨床栄養師研修カリキュラムにおける達成目標、実施、評価指針

NO	区分	認定講座(100時間)	臨床研修(900時間)		
		達成目標	達成目標	実施	評価
1	倫理とチーム活動	栄養ケア・マネジメントの実践活動のための倫理、チームに参画する専門職としての役割を理解し、説明できる。	栄養ケア・マネジメントの実践活動のための倫理、チームに参画する専門職としての役割を理解し、行動ができる。	患者の人格を尊重し、個人の秘密を遵守し監督下での業務活動を行う。 他職種とのコミュニケーションを積極的に行い、チームでの専門職としての役割を監督下で推進する。	レポート及び行動を評価する
2	栄養ケア・マネジメントと情報管理	臨床栄養師に必要な情報倫理や情報技術活用の基礎を理解し、説明できる。	臨床栄養師に必要な情報倫理や情報技術活用の基礎を理解して活用できる。	施設内のITを活用したコミュニケーション、プレゼンテーションなどを監督下で行う。	レポート及び行動を評価する
3	科学的論拠に基づいた栄養ケア・マネジメント活動	栄養ケア・マネジメント業務に必要な科学的論拠の信頼性のレベルや検索方法を理解し、根拠の収集と整理ができる。	栄養ケア・マネジメント業務に必要な科学的論拠の信頼性のレベルや検索方法を理解し、根拠の収集と整理ができる。	業務活動に必要な科学論文を検索、整理し、その概要を監督者及び指導者に報告する。	レポート及び行動を評価する
4	栄養ケア・マネジメントの運営－計画、評価、品質改善活動	栄養ケア・マネジメントの概念、栄養ケア・マネジメント構築・運営ための問題の分析と明確化、計画、評価を理解し、説明ができる。	栄養ケア・マネジメントの概念、栄養ケア・マネジメント構築・運営のための問題の分析と明確化、計画、評価を理解し、栄養ケア・マネジメントに監督下で参画ができる。	研修の場における栄養ケア・マネジメントの手順に従い監督下での業務活動を行う。また、栄養ケア・マネジメントの運営上の問題を分析し解決法を提案、報告する。	レポート及び行動を評価する
		事例を通じて栄養ケア・マネジメントの質の評価と継続的な品質改善活動について理解し、説明ができる。	監督下で栄養ケア・マネジメントの質の評価と継続的な品質改善活動ができる。	監督下で栄養ケア・マネジメントの評価に参加し、あるいは既存の評価報告に基づいて継続的な品質改善活動について報告する。	レポート及び行動を評価する

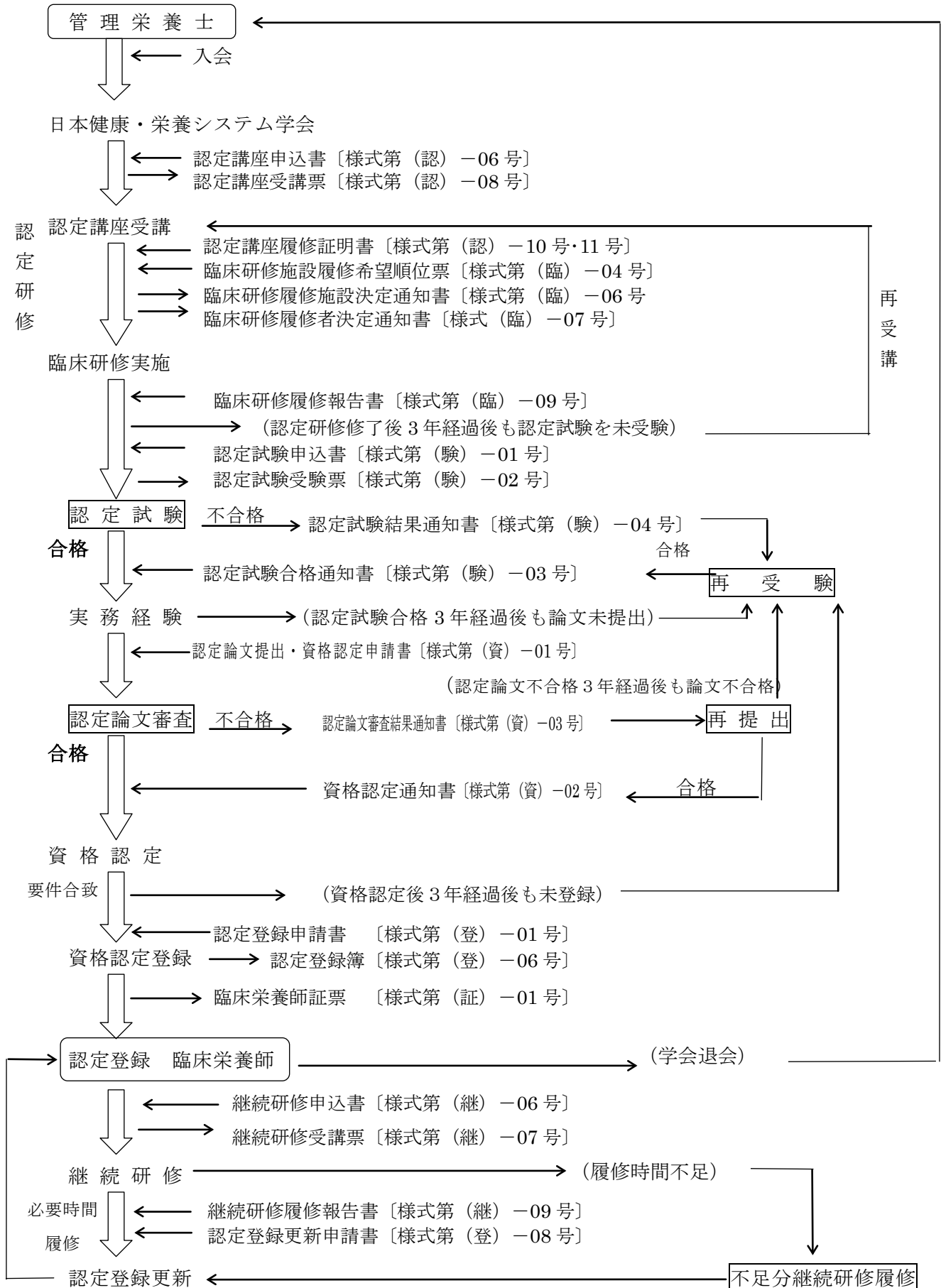
5	栄養アセスメント・ 栄養ケア計画	栄養アセスメント、栄養 ケア計画の基本を理解 し、提示された事例の 栄養ケア計画票が記入 できる。	監督下で栄養アセスメ ント、栄養ケア計画の 基本を理解し、症例の 栄養ケア計画票が作成 できる。	基本的な1症例につ いて、指導を得なが ら栄養アセスメントか ら栄養ケア計画まで の栄養ケア計画票を 作成する(各研修領 域における研修初期 に行うこと)。	栄養ケア計画票の 作成過程を評価す る	
6	特定保健用食品・ 保健機能食品・病 者用食品の検討	特定保健用食品・保健 機能食品・病者用食品 に関する科学的根拠を 理解し、健康・栄養食 品の適切な選択とその 解説のための基本的事 項を理解し、説明でき る。	監督下で症例に見合っ た特定保健用食品・保 健機能食品・病者用食 品などの健康・栄養食 品の適切な選択を行 い、患者や専門職に説 明できる。	監督下で症例に見合 った適切な特定保健 用食品・保健機能食 品・病者用食品など の健康・栄養食品の 選択を行い、患者や 他の専門職に説明で きる。	選択の根拠及び行 動を評価する	
7	経腸・静脈栄養法	臨床的に安定している 患者の経腸・静脈栄養 法と栄養ケア計画、経 口移行の計画に関する 基礎的事項を理解し、 説明できる。	監督下で臨床的に安 定している患者の経 腸・静脈栄養法と栄養 ケア計画、経口移行の 計画を作成し、医師の 指導のもとに実施でき る。	臨床的に安定してい る患者2症例以上 について経腸・静脈栄 養管理の栄養ケア計 画、経口移行の計画 を作成し、医師及び 指導者の指導のもと に実施する	作成した栄養ケア 計画票およびその 経緯について面接 及び行動を評価す る	
8	栄養教育	生活習慣病	軽症生活習慣病の重 症化予防・治療に対 する栄養教育の基本を 理解し、事例への栄養 教育を実施するための アセスメント、計画作 成について理解する。	軽症生活習慣病の重 症化予防・治療に対 する栄養教育の基本を 理解し、事例への栄養 教育を実施するための アセスメント、計画作 成ができるようになる。	生活習慣病患者の 重症化予防・治療に 対する栄養教育を実 施するためのアセス メント、計画作成を 行い、実施、チェック、 モニタリングができ る。	生活習慣病患者 (糖尿病は必須、 他に高脂血症、高 血圧など)2症例以 上の予防・治療の 栄養教育のための アセスメント、計画 作成を行い、実 施、チェック、モニ タリングする。

		低 栄 養 状 態	軽症低栄養患者の重症化予防・治療に対する栄養教育の基本を理解し、事例への栄養教育のためのアセスメント、計画作成ができるようになる。	監督下で低栄養患者の重症化予防・治療の栄養教育のためのアセスメント、計画作成を行い、実施、チェック、モニタリングができる。	監督下で低栄養患者2症例以上について予防・治療に対する栄養教育のためのアセスメント、計画作成を行い、実施、チェック、モニタリングする。	作成した栄養ケア計画票とその経緯についての面接及び栄養教育現場において行動を評価する
		栄 養 教 育 の 基 本	栄養教育の理論やモデルに基づいた個別並びに集団栄養教育の基本を理解し説明できるようになる。	監督下で栄養教育の理論やモデルに基づいた個別並びに集団栄養教育の基本を理解し実施できる。	監督下で栄養教育の理論やモデルに基づき、個人1症例以上並びに集団栄養教育1回以上を実施する。	作成した栄養ケア計画票とその経緯についての面接及び栄養教育現場において行動を評価する
9	症例検討と発表		各疾患別の栄養アセスメント、栄養ケアに関する基礎的事項を理解し、比較的軽症な症例の栄養アセスメント、栄養ケア計画、評価を監督下で実施し、症例検討や発表ができる。	各疾患別の栄養アセスメント、栄養ケアに関する基礎的事項を理解し、比較的軽症な症例の栄養アセスメント、栄養ケア計画、評価を監督下で実施し、症例検討や発表ができる。	各疾患別の5症例以上の栄養アセスメント、栄養ケアに関する基礎的事項を理解し、比較的軽症な症例の栄養アセスメント、栄養ケア計画、評価を監督下で実施し、症例検討や発表をする。	作成した栄養管理票とその経緯についての面接及び行動を評価する
10	退院(所)計画・指導		食事・栄養に関する退院計画作成と患者の身体状況、栄養状態に合わせて地域サービス資源を紹介するための基礎的知識と手順を理解し、監督下で調整し、利用者に対して退院計画を説明できる。	食事・栄養に関する退院計画作成と患者の身体状況、栄養状態に合わせて地域サービス資源を紹介するための基礎的知識と手順を理解し、監督下で調整し、利用者に対して退院計画を説明できる。	食事・栄養に関する退院計画作成と患者の身体状況、栄養状態に合わせて地域サービス資源を紹介するための基礎的知識と手順を理解し、監督下で調整し、利用者1症例以上に対して退院計画を立案、説明する。	作成した退院計画票とその経緯についての面接及び行動を評価する

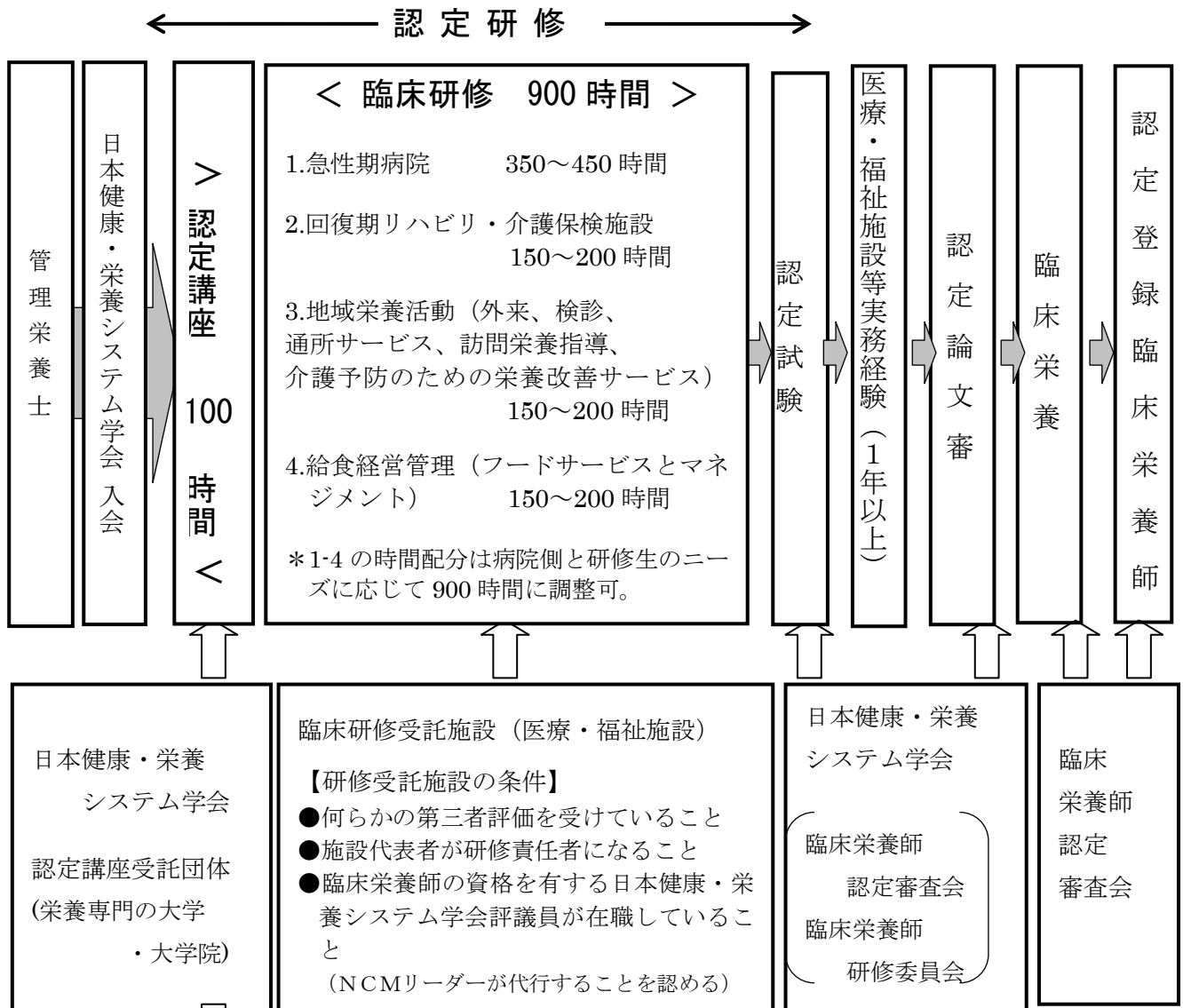
11	在宅・栄養ケア・マネジメント 食事サービス	介護予防及び居宅患者への食事サービス資源を活用した栄養ケア・マネジメント活動を監督下で実施できる。	介護予防及び居宅患者への食事サービス資源を活用した栄養ケア・マネジメント活動を監督下で実施できる。	介護予防及び居宅患者への食事サービス資源を活用した栄養ケア・マネジメント活動を監督下で実施する。	レポート評価及び行動を評価する
12	集団の栄養評価と計画	地域、集団の健康増進、並びに生活習慣病と低栄養予防のための栄養評価と栄養計画の作成・評価の基本的事項を理解し、説明できる。さらに、地域の事例を通じて臨床栄養師の実践活動について理解する。	地域、集団の健康増進、並びに生活習慣病と低栄養予防のための栄養状態の評価と栄養計画の作成・評価活動に参画できる。	地域、集団の健康増進、並びに生活習慣病と低栄養予防のための栄養状態の評価と栄養計画の作成・評価活動に監督下で参画する。	レポート評価及び行動を評価する
13	地域栄養活動(自治体やボランティア活動団体との連携を含む)	地域の食事・栄養計画と自治体やボランティア活動との連携について理解し、説明できる。異文化や宗教的制限のある人達への栄養ケアについて理解し、説明できる。	地域の食事・栄養計画と自治体やボランティア活動と連携した計画や活動ができる。異文化や宗教的制限のある人達への栄養ケアや栄養食事指導計画を作成したり、監督下で説明ができる。	地域の食事・栄養計画と自治体やボランティア活動と連携した計画や活動をする。異文化や宗教的制限のある人達への栄養ケアや栄養食事指導計画を作成したり、監督下で説明する。	レポート評価及び行動を評価する
14	栄養政策と栄養士活動	医療、保健、福祉介護制度と栄養ケア・マネジメントについて理解し、説明ができる。栄養ケア・マネジメントに関する栄養関連の制度や制度化の過程を理解し、説明ができる。	医療、保健、福祉介護制度と栄養ケア・マネジメントとの関連、栄養ケア・マネジメントに関する栄養を中心とした制度との関連性を実践活動と対応させて理解し、現状の問題と将来展望について説明ができる。	医療、保健、福祉介護制度と栄養ケア・マネジメントとの関連、栄養ケア・マネジメントに関する栄養を中心とした制度との関連性を実践活動と対応させて理解し、現状の問題と将来展望について説明する。	レポート及び面接により評価する
15	給食経営管理	給食管理基準に適應し、コスト、患者の満足感を考慮した給食経営管理の基本的事項、手順並びにその効率化に	給食管理基準に適應し、コスト、患者の満足感を考慮した給食経営管理の基本的事項と手順、並びにその効率化に	給食管理基準に適應し、コスト、患者の満足感を考慮した給食経営管理の基本的事項と手順、並び	レポート、面接、行動により評価する

		<p>ついて理解し、説明ができる。</p> <p>患者の嗜好、身体状況、栄養状態に合わせた食事、食品、栄養剤の調整について理解し、説明ができる。</p>	<p>について実践活動と関連して理解し、説明ができる。</p> <p>監督下で、患者の嗜好、身体状況、栄養状態に合わせた食事、食品、栄養剤の調整ができる。</p>	<p>にその効率化について実践活動と関連して理解し、説明する。</p> <p>監督下で、患者の嗜好、身体状況、栄養状態に合わせた食事、食品、栄養剤の調整ができる。</p>	
16	経営の基礎	<p>栄養関連企業や病院経営事業のビジネス計画・推進について理解し、説明ができる。</p> <p>財務データの活用を理解し、説明ができる。</p> <p>マーケティングの基礎を理解し、説明ができる。</p> <p>人材資源管理の基礎を理解し、説明ができる。</p> <p>施設管理の基礎を理解し、説明ができる。</p> <p>診療報酬請求のための基本的事項を理解し、説明ができる。</p>	<p>栄養関連企業や病院経営事業のビジネス計画・推進に監督下で参加できる。</p> <p>財務データの活用を理解し、監督下で実施できる。</p> <p>マーケティングの基礎を理解し、マーケティング活動に参加できる。</p> <p>人材資源管理の基礎を理解し、実践活動と関連して説明ができる。</p> <p>施設管理の基礎を理解し、実践活動と関連して説明ができる。</p> <p>診療報酬請求のための基本的事項を理解し、監督下で実施することができる。</p>	<p>栄養関連企業や病院経営事業のビジネス計画・推進に監督下で参加する。</p> <p>財務データ収集の活用を理解し、監督下で実施する。</p> <p>マーケティングの基礎を理解し、マーケティング活動に参加する。</p> <p>人材資源管理の基礎を理解し、実践活動と関連して説明する。</p> <p>施設管理の基礎を理解し、実践活動と関連して説明する。</p> <p>診療報酬請求のための基本的事項を理解し、監督下で実施する。</p>	レポート、面接により評価する
17	人材教育と自己研鑽、生涯学習	<p>栄養士教育(学生の臨地実習や栄養士などを対象)、自己の業績や経歴書の作成、自己開発のための生涯学習の計画・実施・自己評価のあり方などを理解し、説明ができる。</p>	<p>栄養士教育(学生の臨地実習や栄養士などを対象)、自己の業績や経歴書の作成、自己開発のための生涯学習の計画・実施・自己評価を実施することができる。</p>	<p>栄養士教育(学生の臨地実習や栄養士などを対象)、自己の業績や経歴書の作成、自己開発のための生涯学習の計画・実施・自己評価を実施する</p>	レポート、面接により評価する
18	特別講義	<p>最新の栄養ケア・マネジメントの知識.技術を習得する</p>	<p>最新の栄養ケア・マネジメントの知識.技術を習得する</p>	<p>最新の栄養ケア・マネジメントの知識.技術を臨床において活用できる</p>	レポート、行動により評価する

臨床栄養師 資格認定・登録の概要



臨床栄養師養成の概要図



認定講座					
1	倫理とチーム活動	2 時間	10	退院計画・指導	4 時間
2	栄養ケア・マネジメントと情報管理	2 時間	11	在宅栄養ケア・マネジメントの運営	3 時間
3	科学的論拠に基づいた栄養ケア・マネジメント	2 時間	12	集団の栄養評価と計画	6 時間
4	栄養ケア・マネジメントの運営	4 時間	13	地域栄養活動	2 時間
5	栄養アセスメント・栄養ケア計画	7 時間	14	栄養政策と栄養士活動	4 時間
6	特定保健用食品・保健機能食品・病者用食品	4 時間	15	給食経営管理	4 時間
			16	経営の基礎	8 時間
7	経腸・静脈栄養法	8 時間	17	人材教育と自己研鑽、生涯学習	2 時間
			18	特別講義	2 時間
8	栄養教育	16 時間	合 計		100 時間
9	症例検討と発表	20 時間			

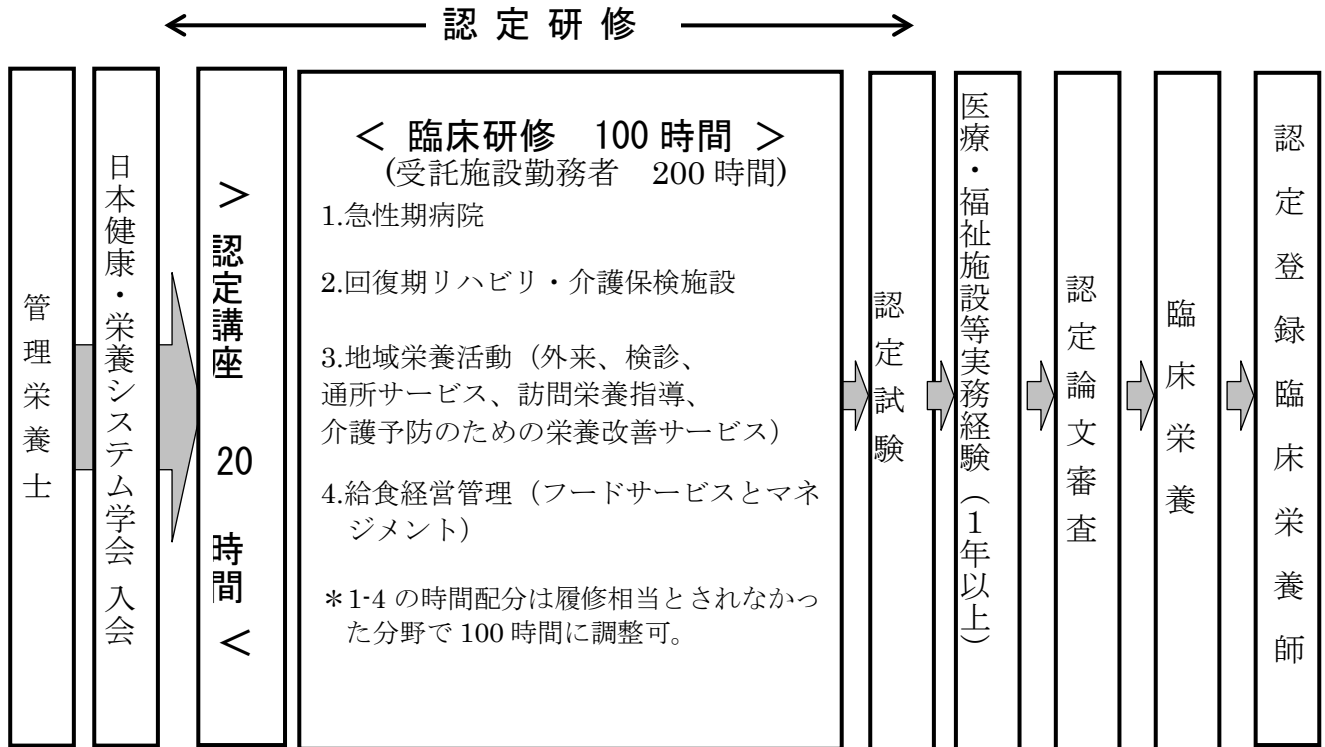
認定講座、臨床研修の履修相当については、臨床栄養師認定研修履修相当細則による。

NCM リーダー・受託施設勤務者の場合

認定講座 80 時間 臨床研修 800 時間（受託施設勤務者は 700 時間）を
履修相当とする

臨床栄養師認定研修履修相当細則より

臨床栄養師養成の概要図



認定講座の履修必要科目（NCM リーダー受託施設勤務者）

認 定 講 座					
1	倫理とチーム活動		10	退院計画・指導	
2	栄養ケア・マネジメントと情報管理		11	在宅栄養ケア・マネジメントの運営	2 時間
3	科学的論拠に基づいた栄養ケア・マネジメント		12	集団の栄養評価と計画	2 時間
4	栄養ケア・マネジメントの運営		13	地域栄養活動	2 時間
5	栄養アセスメント・栄養ケア計画		14	栄養政策と栄養士活動	
6	特定保健用食品・保健機能食品・病者用食品		15	給食経営管理	
			16	経営の基礎	4 時間
7	経腸・静脈栄養法		17	人材教育と自己研鑽、生涯学習	2 時間
			18	特別講義	
8	栄養教育	2 時間			
9	症例検討と発表	6 時間	合 計		20 時間

日本健康・栄養システム学会 個人情報の取扱方針

日本健康・栄養システム学会では、個人情報の収集、利用および提供、管理、破棄について、次のように取り扱います。

* 個人情報とは

個人情報とは、個人に関する情報であり、氏名、生年月日その他、特定の個人を識別することができるものをいいます。個人の身体、財産、社会的地位、身分などの属性に関する情報であっても、氏名等と一体となって特定の個人を識別できるものは、個人情報にあたります。また、他の情報と照合することで個人の識別が可能となる場合も個人情報にあたります。

* 収集の制限

個人情報を収集するにあたっては、目的を明確にした上で、必要な範囲内で行うこととします。

* 利用および提供の制限

個人情報は、取り扱い目的の範囲内で利用または提供します。法令等の規定に基づく場合や本人の同意がある場合を除き、取り扱い目的以外の目的に利用したり第三者に提供したりすることはありません。

* 個人情報の管理および廃棄

収集した個人情報については、厳重に管理し、漏えい、改ざん等の防止に努めます。

保存する必要のなくなった個人情報については、確実に、かつ、速やかに消去します。

* 取り扱い方針の改善

個人情報の取扱方針に関して、適宜、内容を見直し改善していきます。

(臨床栄養師資格認定・登録に係る個人情報の取り扱いについて)

臨床栄養師資格認定・登録に関する志願者、受講希望者から収集した個人情報について、次のように取り扱います。

区分	収集した個人情報の取り扱い
臨床栄養師資格認定・登録の手続きをした場合	資格認定者登録簿作成に引き続き利用します。
選考に不合格となった場合	3年間保存後、破棄します。

認定講座・臨床研修 願書提出について

出願は、認定講座、臨床研修ともに平成22年6月10日必着（厳守）とする。
提出書類は、要綱から外して記入し、全て複写し原本とコピー1部を提出して下さい。
以下の順番でコピー1部のみ左上にホチキス止めをして提出して下さい。

* 期限を厳守の上、簡易書留で郵送にて提出する。

(認定講座)

1. 認定講座申込書（願書）
2. 個人経歴・業績書
3. 住民票
4. 身分証明書（職員証・保険証・勤務証明書など：運転免許証不可）
5. 振込み済み郵便振替払込金受領書コピー同封
(受講料8万円 テキスト代3万円 計11万円)
*NCMリーダー・大学院生は3万6千円
6. 臨床研修履修相当申請書（履修相当申請の場合のみ）
- (7.) 履修相当を証明する書類（履修相当申請の場合のみ）
*臨床栄養師認定研修履修相当細則をホームページに
公開いたしますのでご参照ください

(臨床研修)

1. 臨床研修施設希望順位票
2. 研修施設提出用履歴書(市販等・フォーマット自由:希望施設数分)

* 研修施設のマッチング実施後、臨床研修実施施設決定通知書にてご連絡いたします。
臨床研修施設決定は、6月中旬以降を予定しています。

* 臨床研修費用は、臨床研修実施施設決定通知書が届いてからお振込下さい。

書類送付先

日本健康・栄養システム学会事務局

〒104-0061

東京都中央区銀座 1-5-15 ドゥーミラン銀座ビル 5階

TEL 03-5159-0365

FAX 03-5159-0366

E-mail:ncm@j-ncm.com

学会ホームページ <http://www.j-ncm.com/>

費用振込先

加入者名 有限責任中間法人 日本健康・栄養システム学会

口座番号 00190-9-408852

〈記入例〉

第(履)ー01号

一般社団法人 日本健康・栄養システム学会
理事長 武藤泰敏 殿

平成 22 年 4 月 15 日

氏名 日健栄子 (印)

住所 東京都中央区銀座 1丁目5-15

臨床栄養師認定研修履修相当申請書

※臨床栄養師研修関係規則（抜粋）P23 参照

臨床栄養師認定研修履修相当細則（以下「細則」という。）に基づき、認定研修の履修相当を次のとおり申請します。

細則第2条の

*第1号	認定講座	16時間	*第2号	栄養サポートチーム専門栄養士 病態栄養専門師 糖尿病療養指導士	認定講座 臨床研修 資格取得年度	16時間 40時間 19年度
*第3号	認定講座	80時間	*第4号	臨床研修		800時間
*第5号	認定講座 臨床研修	80時間 700時間	*第6号	認定講座 (第14号適用) 臨床研修	時間 時間	
*第7号	認定講座 もしくは臨床研修	時間	*第8号	臨床研修		60時間
*第9号	認定講座	時間	*第10号	認定講座 もしくは臨床研修	時間	
*第11号	認定講座	時間	*第12号	認定講座	時間	
*第13号	認定講座	時間				
*第14号	認定講座 臨床研修	時間 時間	事由：			

※該当する各号を○で囲み、認定講座及び臨床研修の履修相当時間を記入してください
※資格に関する場合には、申請根拠となる証明書類を添付してください

臨床栄養師資格認定・登録にかかる費用一覧

	料金の種別	料 金	NCMリーダー有資格者 大学院生
学 会	入会費 年会費	5,000円 7,000円	同左
認定講座	受講料 テキスト代	80,000円 30,000円	16,000円 20,000円
臨床研修	臨床研修料	200円×研修時間(必修) +手数料 10,000円	同左
認定試験 (年1回)	受験料	13,000円	同左
認定論文審査	論文審査料	15,000円	同左
資格登録	認定登録料 (章含む)	50,000円	同左
登録更新	登録更新料	5,000円	同左
継続研修	継続研修料	1,400円/h	同左
証票	証票交付料 再交付料	15,000円 15,000円	同左
章	章再交付料	15,000円	同左